

# Lost at Sea



(Level 4)

岐阜県立池田高等学校

3年4組

英語学習歴 6年

タケカ トモコ  
竹中 智子

この話は、子どもたちたけで船で海へ行き、嵐にあって遭難してしまう話でした。私がこの話に共感を覚えたのは、昔同じような経験をしたことがあるからです。

私は小学5年生の時、宿泊研修で関ヶ原へ行って、山でオリエンテーリングを行いました。そして、私たちのグループだけが山中で迷ってしまいました。知らない山の中を、方向も分からずに歩き続けて本当に怖い思いをしました。きっと、海をさまよっていたTylerたちも、同じような気持ちだったのだらうと思います。

私が迷ったのは山だったけど、彼らは海の上でしかも嵐が来ると船が転覆するかもしれない恐怖がありました。さらにFayeの携帯電話や皆のリュックサックも水に濡れてしまい、私はとてもハラハラしながら読みました。

私がもしこの状況に居たら、Danielaのようにパニックになって、「どうしよう?」と人に頼ってばかりになってしまうと思います。

そんな中、島に漂着し、Fayeが皆にテキパキと指示を出すシーンになります。

Fayeは私の大好きなキャラクターで、正義感と賢さが存分に発揮されたこの場面が一番お気に入りです。冷静に何をやる必要があるのか判断するFayeは、とても素敵で、すごく格好良いと思いました。

皆で協力して火をおこしたり、薪を集めたり、歌をうたって逆にその状況を楽しもうとする場面は、仲間のありがたさを感じました。

私もあの時、グループの皆がいたから励みあって歩くことができたと思います。今になって、これを読んで、大変なことがあっても仲間と一緒に乗りこえていく大切さをあらためて学びました。

最後の「What an adventure, But I don't want to do that again!」には、すごく共感します。

でも、こんな風にみんなで助け合える困難なら、良い経験になるので、これから先、いろんな大変なことがあっても頑張っていきたいと思います。